

公益社団法人 広島県診療放射線技師会  
令和6年度 第4回理事会議事録

令和6年12月22日

公益社団法人 広島県診療放射線技師会

## 令和6年度広島県診療放射線技師会 第4回理事会

日時 令和6年12月22日(日) 13:00~17:00

場所 広島大学病院 臨床管理棟3階3F4会議室ならびにWeb会議※

議事録記載：戸塚 功二

議事録署名人：穂山 雄次 塚本 友勝

理事現在数：25名

出席理事：木口雅夫 中上康二 小村哲也 戸塚功二 穂山雄次 森美由紀 沖野智香 本城主祐 山田聖 横町和志 高内孔明 三村明生 大胡文彦 佐々木公 富久昇※ 池田将敏 山本健之 塚本友勝※ 中山貴裕 三村尚輝 今井康介※ 中川拓哉 船津慶大 光本勢人(敬称略)

出席監事：今田直幸 山口裕之

出席理事：24名

出席監事：2名

※はWeb参加

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したので、本理事会は適法に成立した。よって当法人定款35条に基づき会長 木口雅夫は議長の席に着き開会を宣言し直ちに議事に入った。

### 議事

#### (報告事項)

#### 1. 年間計画(タイムスケジュール)の確認、会長・副会長の職務執行報告

令和6年度の年間計画(タイムスケジュール)の確認を行なった。

令和6年10月から12月の会長、両副会長の職務執行報告があった。

#### 2. 総務：会員動向

穂山理事より資料を参考にして会員動向の報告があった。現在の会員数810名であり、前回の理事会から新たに6名の入会希望があった。転入・転出・変動なし。前回の理事会から新たに5名の退会があった。新入会の方の支部に誤りがないかと退会者の確認の依頼があった。森理事との情報の共有が確認された。

#### 3. 学術：マネジメントについて、支部、その他研修会について

山田理事よりマネジメント研修会の開催報告があった。令和6年11月9日(土)に広島がん高精度放射線治療センターにて開催し、会場29名の参加者があった。木口会長からプログラムは興味深い内容であり、中上副会長の講演も好評であったとの感想を伝えられた。講師の先生に共有して頂いた資料を会誌に掲載してはどうかとの意見があった。戸塚理事から次号の会誌に掲載を検討すると発言があった。

三村明生理事よりエコー塾の開催報告があった。12/12にピースウイング広島で開催され、参

加者は講師を含めて24名、そのうち非会員は4名、臨床検査技師が3名であった。経費がかかりすぎたため次回の方法を検討する必要がある。機械の取り扱いに関するリスクが指摘され、今後メーカーやレンタル会社からの機材借用を検討する。今回使用したピースウイングは利用料が安価だが、スタッフが慣れていないなどの問題点がある。会場について森理事からおりづるタワーが研修会の目的であると会議室を無料で借りられるとの情報提供があった。

池田理事より西部支部の研修会報告があった。11/22に現地のみで開催した。プログラムは3演題で参加者は28名（非会員4名含む）であった。参加者のアンケート結果から3演題とも満足度が多かった。施設内見学と情報交換会を実施した。

光本理事より南東安芸支部の研修会報告があった。12/5にマツダ病院にて開催した。プログラムは3演題で参加者22名であった。がん化学療法認定看護師や地域医療連携室の看護師、マツダ病院の救急医の先生にご講演いただいた。

中川理事より北部支部の研修会報告があった。12/17に市立三次中央病院にて開催し、参加者は16名であった。Webの配信が不具合で、配信開始が1時間後からとなった。原因は県技師会のgoogleアカウントに2段階認証を求められたためであった。普段のログインしていないPCの場合は、2段階認証が必要になる。森理事より本件対策として支部理事は理事会時に定期的にログインして2段階認証を求められないようにする必要があるとの提案があった。他にも前日にログインをしておくことや個人の携帯番号を共有しておくなどの提案があった。

大胡理事より広島中央支部の研修会報告があった。12/20広島赤十字・原爆病院にて開催した。参加者は26名うち非会員1名であった。内容はアミロイドPET、長尺撮影に関する講演と研修会終了後に施設見学を行った。

大胡理事よりMRI研修会開催予定の報告があった。1/26広島市立北部医療センター安佐市民病院にて現地のみ開催を予定している。

三村尚輝理事より第3回研修会の開催予定の報告があった。2/11福山ローズコムにて、若手放射線技師2名の発表、熊本大学の池田先生にタスクシフトシェアの話をしていただく。福山医療センターの医師の講演も予定している。研修会後に懇親会も予定している。

三村尚輝理事より福山医学祭の報告があった。福山医師会館にて各メディカルスタッフ400名が参加であった。今回は診療放射線技師がブースを担当し、150名の参加があった。内容はクイズ、骨塩の紹介、装置メーカーのデモ、スタンプラリーなどであった。

#### 4. 教育委員：フレッシューズセミナー、告示研修開催について

穂山理事より報告があった。フレッシューズセミナーは、19名が参加しそのうち7名が入会済みであった。未入会11名のうち3名も後日入会された。残りの7名は未入会でフォローを検討中である。本研修会は、Web開催も承認されているが、来年度も現地開催を考えている。木口会長より8月開催であり、既に入会している方が多いため開催後の入会者少ない。参加人数は、他県より多い状況であるとの補足説明があった。

穂山理事より告示研修の報告があった。12/14に広島大学病院で開催した。参加者は46名で問題なく終了した。次回は2/15、16を予定している。締切はそれぞれ2/1、2である。地方開催は令和8年の2月で終了する旨をホームページや会誌等で広報していく事とする。参加者に早めの受講を促す内容とする。

穂山理事より基礎学術講習の予定の報告があった。令和6年度の基礎技術講習会は、2/9に超音波をテーマに開催予定である。広島大学病院たんぼぼ保育園2階カンファレンスルーム2で行う。現在参加申込5名である。20名以上集まらないと開催できないため、理事に広報の依頼があった。今年度からJARTのeラーニングは、受講料が無料となった。来年度以降の基礎学術講習は、全てeラーニングに移行され、現地開催は行わないとの報告があった。

#### 5. 企画：レントゲン週間開催について

沖野理事よりレントゲン週間について報告があった。レントゲン週間は、11/4の祝日に紙屋町シャレオ中央広場にて開催された。先日準備14名、当日21名のスタッフ参加があった。骨密度測定に200名参加いただいた。トラブルなく終了した。昨年度よりスタッフの参加者少なく、特に骨密度の結果説明担当者に負担がかかった。小村副会長より来年度は富士フィルムからの骨密度装置の貸出が出来ない可能性があるとの報告があった。また、面白レントゲンのデジタル化に取り組んでいる。フィルムは大胡理事お願いしてデジタル化している。PC2台は調達済み、モニターの購入を検討しているとの報告があった。戸塚理事から骨密度の結果説明に対して良い結果、悪い結果事に強弱をつけて説明して効率を上げる、骨密度装置は提供元に心当たりがあり確認してみるとの発言があった。木口会長よりシャカステンの廃棄の指示があった。

## 6. 編集：RTJournal 発刊について、ニュース発行について

戸塚理事より RTJournalNo62 の発行の報告があった。RTJournalNo62 は 11/20 に校了として印刷作業に入り 12/4 に発送された。送付先データは以前の宛先誤植の対応として、中本本店から加工後のデータを受け取り確認・保存した。発行部数 850、送付 837、費用は合計 ¥1,068,196 であった。

研修会チラシ 2/17 に原稿（市民公開講座、75 周年記念事業のご案内、基礎学術講習超音波、第 3 回研修会）と送付先データを中本本店に納品。/10 に出荷予定。発行部数 850、送付 841、費用は合計 ¥248,506 であるとの報告があった。

木口会長より市民公開講座のチラシの差し替えの要望があり。戸塚理事より中本本店に可能かどうか早急に確認するとの返答があった。

今田監事より日本診療放射線技師会の会誌をデジタル化にする動きがあるかどうか木口会長に質問があった。木口会長から将来的にデジタル化を検討しているが、現在実施は決まっていない。中四国地域では、会誌ではなくニュースレターを毎月発行している県もあるとの回答があった。

## 7. 広報：ホームページ掲載、メールマガジン発行について

中上副会長よりホームページ・メルマガ共にレスポンスが良好であり今井理事、友安理事の対応に感謝が示された。続いて告示研修については、受講率を 8 割まで上げることを目標に広報活動を強化する必要がある。フェイスブックに多くの理事が投稿して技師会の活動内容を広く会員に伝えたいとの発言があった。

山口監事よりホームページについてトップページのお知らせが新しい項目が追加されるたびに下に押し出される件について改善の要望があった。この意見に対して今井理事から長期表示が必要な記事は固定ができるので掲載依頼時に固定する期間を指示していただきたいとの回答があった。

今田監事よりホームページについて理事一覧を開いた時に令和 2、3 年のものが開く時があるとの指摘に対して、今井理事が古いデータを閲覧する必要がないのであれば削除することは出来るとの回答があった。木口会長から古いデータは必要ないので削除するように指示があった。

## 8. 支部：支部活動報告について（年間計画を報告）

- ・北西山縣支部、富久理事より 2/7 に研修会が予定されておりハイブリット形式で開催すると説明があった。

- ・東広島支部、船津理事より 2/26 にハイブリット形式での研修会が予定されており、内容は富士フィルムの長尺撮影の紹介と整形外科の志村先生の講演を予定していると説明があった。

## 9. 財務：財務状況について

森理事より年会費の納入状況は現在 696 名、未納付者に納入の依頼をしているとの報告があった。広告費の入金期限を超過したが、未納の業者がある状況の説明があった。来年 2 月開催の研修会の起案書を早めに提出ならびに、お茶代もおおよその金額で良いので起案書に記載が必要との要望があった。また、記念式典の積立についての説明があった。

木口会長より 1 月中旬に発送する研修会チラシに加えて、75 周年記念講演、式典、祝賀会のチラシの郵送について対応可能か質問があった。森理事から財務的に問題ないとの回答があった。

#### 10. 連盟支部：連盟活動について

中上副会長より先程の衆議院議員選挙について報告があった。畦元氏を引き続き応援していくこと、理事の方にもサポートをお願いしたいとの依頼があった。

#### (審議事項)

##### 1. 総務：令和 6 年度会員動向（入会、退会）について

新規入会の 5 名、再入会 1 名に対し、審議し採決の結果賛成多数で承認された。

##### 2. 学術：研修会開催について（第 3 回研修会について）

第 3 回研修会は日付と福山地区での開催に関して、審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

##### 3. 企画：レントゲン週間イベントの日程について

来年度の日程についてシャレオ中央広場を借り抑えている。11/2・3、11/16 を候補日として来年度の開催を計画していくことに関して、審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

##### 4. 編集：令和 6 年度 RTJournal No63 発刊について

令和 6 年度 RTJournal No63 発刊に関して、掲載内容やスケジュールについて説明を行い審議した。

木口会長より校了日が第 6 回理事会（5/25）より前に設定されているため 5/26 に調整してほしいとの意見があった。

今田監事より今年度に定款改正の必要があるかの確認があった。

木口会長より定款改正が必要で定時総会の委任状と合わせて往復はがきにて会員の賛否を問う必要があると回答があった。また、定款改定には会員の 2/3 の賛成が必要であるため例年よりも早いはがきの送付と返信の呼びかけが必要となると発言があった。

木口会長より 11 月に開催したマネジメント研修会の内容を記事として提出いただけるように依頼してほしいと光本理事に要請がありその内容を掲載することとした。

戸塚理事が計画案に加えて中本本店とスケジュール調整、定款改定の賛否を踏まえた往復はがきの作製・送付、マネジメント研修の講演内容の掲載を盛り込み進めることとした。

ほかに意見なく採決の結果、賛成多数で承認された。

##### 5. 福利厚生：ソフトボール大会開催について

船津理事より来年度のソフトボール大会の日程と場所の提案があった。2025 年 6/8（日）広島国際大学での開催を計画、予備としてみよし運動公園を同日で申し込み（抽選にて決定）することに対して審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

##### 5. 執行部：広島県立入検査、21 世紀、県民の健康とくらしを考える会、創立 75 周年記念事業開催について

木口会長から 21 世紀、県民の健康とくらしを考える会について、1/18 に広島県医師会館で開

催される県民フォーラムは、本会からのコーナー出展としてポスター展示し、小村副会長に参加していただくようお願いした。負担金（3口3万円）の振込を済ませたと報告があった。

小村副会長より広島県立入検査に関して報告があった。検査実施は、2名の審査官が来られて10/10(木) 10時00分から16時00分であった。立入検査の留意事項について詳細な説明があった（下記の総括抜粋を参照）。広島県から1か月以内に立入検査実施通知書が送付され、指摘事項に対して対応状況の報告が必要となる。内容については、後日情報共有する。今回は定款、諸規定の改正が必要なところがあるため、変更内容を次回理事会で検討し承認を得た後に、2025年の定時総会での承認が必要となる。

木口会長より公益社団法人広島県診療放射線技師会 創立75周年記念事業計画について予算収支書の提示があり内容の説明があった。予算に収まる300万円強の見積の提示もあった。

75周年記念事業の予算案について議論し、参加費を3,000円とすることと、参加者数を150名から200名の範囲で検討することが話し合われた。予算の詳細や、料理、飲み物、会場費などの項目別の費用が検討された。記念式典の司会進行、挨拶、来賓の対応などについて話し合われた。開会宣言や閉会宣言を副会長が行うことや、来賓として県知事や市長の出席予定などが確認された。表彰者への記念品や表彰状の準備について議論された。県からの表彰と病院協会からの表彰の違いや、記念品の予算についても話し合われた。記念講演の司会を中上副会長、座長を小村副会長と沖野理事が務めることになった。記念式典の開会宣言、閉会宣言を両副会長がつとめる。上田会長と畦元先生が出席される。県知事表彰には山口監事、中上副会長、戸塚理事を推薦している。

審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

#### 6. 監事：令和6年度の事業運営について

今田監事から広島県の立入検査について大きな指摘は無かったと認識している。細かな指摘はあったが真摯に受け止めて改善する必要がある。75周年記念祝賀会には多くの会員に参加いただきたいのでしっかりと広報をしてほしいとの意見があった。

山口監事から立入検査にて買い替えの出来ない資産の所有について尋ねられた事についての確認があった。他は特に問題がないとのご意見であった。

以上

(3/16 次回議事録：友安 美沙)

以上をもって議事を終了したので、上記の決議を明確にするため、議長、議事録記載人、議事録署名人、監事は記名捺印をする。

令和6年12月22日

公益社団法人広島県診療放射線技師会診療放射線技師会 令和6年度第3回理事会

議長 木口 雅夫 ⑩

議事録記載人 戸塚 功二 ⑩

議事録署名人 穂山 雄次 ⑩

議事録署名人 塚本 友勝 ⑩

監事 今田 直幸 ⑩

監事 山口 裕之 ⑩

理事 出席 24 名 欠席 1 名

監事 出席 2 名 欠席 2 名